

肌にやさしく、さっぱり仕上げ 酵素で分解する簡単メイク落とし

富山環境興研

meg クレンジング水



V 天然酵素を使って汚れを落とす、その洗浄技術を化粧品へ応用した。オイル系や活性剤を一切使わず、重ねたファンデーションも落ちにくいまスカラも、すばやく落とせる。酵素の用途開発に取り組む富山県のベンチャー企業が、植物性天然酵素と海洋深層水のみで製品化した。酵素の力はどこまですごい? 発案者の松井富士夫社長に伺った。

Q 酵素と水だけでメイク汚れが落ちるのでしょうか?

化学的に汚れを落とす方法は、界面活性剤で乳化させて泡に包む、あるいは強アルカリ洗剤で融かすというのが一般的ですが、それらとは全く違って、汚れを水と反応させて分解するという「加水分解」を利用しています。加水分解にはよく酵素が用いられます。タンパク質、脂肪、炭水化物などの有機物汚染源を、酵素は炭酸ガスと水に分解します。当社は、京都大学と信州大学のバイオ研究チームと組んで、こうした酵素を使った洗浄剤を、これまで様々な用途に向けて開発してきました。

ビールサーバーの洗浄法で、特許出願されていますね。

通常の濾過・洗浄だと、どうしても細かい所や凹凸のある部分にビールの澱がたまり、そのためビールの味が落ちてしまいますが、酵素洗浄剤はこの澱をきれいに剥離・分解します。富山県の研究機関で比較検査してもらったところ、従来の洗浄法の3倍近い効果があることがわかりました。何より飲んでみたらよくわかりますよ、おいしさも3倍、30倍です(笑)。

化粧品も新たな用途開発で?

いや、全く考えてませんでした。女子社員の「メイク落としへ面倒なのよね」というつぶやきを耳にするまでは…。なぜ面倒なのかも知らないド素人でしたが、彼女から理由を聞いて、ひらめいたわけです。そんな面倒な手順は、酵素の加水分解機能で一発解決だと。ただそこから先は、製品化まで一発OKとはいきませんでした。

どの点に苦労を?

1つの酵素に1つの役割というのが酵素の特徴で、酵素は目的の物質にしか作用しません。そこで各種の化粧剤を分析し、その剥離分解に適した、脂肪、タンパク質、炭水化物の分解酵素の配合と、適正希釈を見つけるため、500名あまりのモニターさんにご協力いただきました。当社の植物性天然酵素は1~10 nmの大きさの分子なので、毛穴に入り込んでそれぞれの汚染源を分解します。同時にうるおいも保たれるので、酵素水をコットンに浸み込ませて拭き取り、あとは水で洗顔するだけです。使用感のアンケート結果でも、「さっぱり感」が高く評価されていました。

販路の開拓はどのように?

今回の用途開発が、本年度の「とやま中小企業チャレンジファンド事業」に採択されて県の支援を受けることができました。地元のオーガニック化粧品メーカーとアライアンスを組み、ジェルタイプ、ふき取りコットンタイプを揃え、全く新しい「天然酵素クレンジングシリーズ」として販売していきます。天然酵素の加水分解ですから、肌の弱い方にも安心・安全にお使いいただける点は、消費者も注目してくれるものと期待しています。

もうひとつの看板商品になりそうですね。

そうなったら有難いことですが、「売って儲けよう」という気はさほどありません。当社の目的は、地球環境にやさしい製品を広く普及させ、日本の水と自然を守ることにありますから。「汚れを落とす」といっても、その落ちた汚れは別な所に移動するだけで、それが流れ込む河川や海を汚し、下水処理は環境に負荷をかけます。天然酵素による洗浄は汚れを分解して自然に戻す、地球と人にやさしい洗浄です。まさにこれからの洗浄文化であり、その文化を広めることが私たちの役目だと思っています。美しい日本の風景を取り戻し、次世代に繋げたいという願いが、実はこの新商品には込められているのです。